



歴史を物語る古道

# 筏師

## の帰って行った道を辿る



去る5月2日、雲一つない見事な五月晴れとなったこの日、熊野古道センター主催「新しい古道の歩き方もう一つの熊野古道～筏師の道～」を開催しました。

熊野古道のガイドを務める傍ら、旅先で感じた役立つ情報などをイラストと文章で紹介する「旅イラストライター」としても活動する植野めぐみさんをガイドに迎え、14名の参加者のみなさんと熊野市紀和町木津呂～奈良県十津川村田戸を繋ぐ道を辿りました。

筏師とは、北山流域の山の奥深くにまだ道路が通っていない時代、山で切り出した木材で筏を組んで川下へ流していた川の職人のことを指します。筏師たちは、長さ4mほどの丸太を5本から10本ほど横に並べ筏を組み、それをいくつか連結させて30m以上もの長い筏を巧みに操り河口の木材市場（和歌山県新宮市）まで運びました。

今回のツアーは、その筏師たちが新宮に木材

を運び終わり、我が家のある北山村集落へ帰るために辿った道のほんの一部である3.5kmを歩きました。さらに、ツアーの到着地点となった田戸は、奈良県・三重県・和歌山県にまたがる国特別名勝の大峽谷、瀨峽が広がります。復路は筏師が下ったこの峽谷を和船で下りました。

明るく歩きやすい尾根道には自然林が続き、所々で見られるツツジの花や、川の水の美しさ、目の前に迫る岸壁など豊かな自然が五感を楽しませてくれました。川を下っていた筏師たちも、この日の私達のように熊野の自然がもたらす美しさを感じながら四季を感じていたかもしれません。熊野古道をはじめとした、熊野の自然はそこに暮らす人々の歴史や文化が感じられる場所で溢れています。古道に一步踏み入れれば、きっと時間の流れを忘れる素敵な旅が待っていることでしょう。



熊野古道からのてがみ

35 通目

私の大切な場所。心を包んでくれる景色

山登りをはじめて耳にするようになった「熊野古道」。それから数年後、趣味の写真を通じて三重県熊野市と出会いました。

熊野市で開催された写真ツアー「をぎっかけに、その時の仲間10人で写真グループ『Ben, Inoue.』を結成し、何回も何回も熊野を訪れ、熊野古道のいろいろなルート歩きをしました。



熊野古道から見る漁村の風景

今までメジャーな熊野古道しか歩いていなかったわたしは、こんなに静かで大きく大きく包み込んでくれる熊野古道があることにびっくりしました。特に曾根次郎坂・太郎坂から下山した時に見える海の景色がお気に入り、何回登つても飽きることはありません。

普段は八ヶ岳や近郊の山に登っているのですが、山頂を目指すことが目標になつてしまい、それまでの過程はどうしても通過点になつてしまします。山頂を目指さずその過程を楽しめる、海と山が近くにある。これも熊野古道の魅力のひとつだと思えます。

そんな感覚が心地よくて熊野古道に通つてしまふのかもしれない。

黒川 雅代さん



黒川 雅代さん  
(京都府宇治市) 会社員、en finder.所属

次は亀山市の米川千賀子さん

### 花尻 薫からの季節のたより No.35

### ツククサ(別名月草) ツククサ科

朝早く露に濡れながら花を咲かせるころから、この名前がついたのだろと言われてます。六月頃から九月頃まで蝶の様な形の花が咲きますが、わずかの数時間でしぼんでしまうので、一日花と記されているのです。

分布は温帯地方から暖帯地方までの北海道・本州(関東地方の南部から以西)・四国・琉球・中国・北アメリカまで野生化しているとツククサの専門家は、書物に書いています。

一日花ですから種を確実につけるため、しおれるときにオシベとメシベが寄りそって受粉し、受精するしくみが備わっているとされています。



ツククサ(別名月草)

花の色は美しいコバルトブルーで、この色の正体は「コンメリニン」という色素で、その名はツククサの学名(ラテン語)の「コンメリナ」にちなんでいそうです。

ツククサの別名は月草(ツキクサ)・めぐりばな・おもいぐさなどですが、ツキクサは昔、友禅染めの下描きに利用されたので、「着き草」から転じて、衣に着く草という意味だそうです。

紀伊半島の南部の海岸近くには、葉の形が卵形で、花の色もやや白色のマルバツククサが自生しています。他にホウライツククサ(九州南部)シマツククサ(九州南部・琉球・台湾・東南アジア)などの種類があるそうです。

#### センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング  
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00  
料 金: 中学生以上 .....1,200円  
小学生以上 .....700円  
4歳~小学生 .....300円  
4歳未満 .....無料  
60歳以上 .....1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」  
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00  
入浴料: 一般 .....600円  
65歳以上 .....500円  
4歳~小学生 .....300円  
4歳未満 .....無料

お風呂あがりは、カフェでゆったり♪  
営業時間: 9:00~17:00  
(カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。



●お車で越しの方は...  
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は...  
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車  
■松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

#### 熊野古道センターニュースレター 熊野古道センターからのてがみ

●発行日: 2015年6月20日(季刊)  
●編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)  
●編集担当: 東  
●連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com HP http://www.kumanokodocenter.com/

●開館時間: 午前9時~午後5時  
●入場料: 無料  
●休館日: 12月31日、1月1日 (その他メンテナンス時休館)

60000150620MH

イベント情報  
Event Info.

企画展  
1

シリーズ  
熊野のお祭り

「御浜町と阿田和神社例大祭」

御浜町阿田和地区に鎮座する阿田和神社で毎年おこなわれる例大祭と御浜町の魅力を紹介します。

会期:開催中  
～7月5日(日)  
午前9時～午後5時  
入場料:無料  
場所:企画展示室



企画展  
2

「熊野の妖怪たち」

山深い熊野では、自然崇拝が息づく中で「不思議な伝説や妖怪の伝承」といった『妖しの物語』が数多く残っています。時代を越えて伝承されてきた妖怪にまつわる物語などを紹介します。

付属事業 1 講演会  
「熊野の怪異・妖怪伝承」

日 時:7月26日(日)  
午後1時30分～3時30分  
参加料:無料  
定員:80名程(要申込・先着順)  
場 所:映像ホール  
講 師:小松和彦氏  
(国際日本文化研究センター所長)  
受 付:6月26日(金)～7月25日(土)

付属事業 2 「熊野の妖怪話 & だるだると遊ぼう」

熊野の妖怪などについて読み聞かせや紙芝居、熊野地方伝説の妖怪「ダル」をイメージしたキャラクター「だるだる」と一緒にダンスなどを楽しみます。  
日 時:8月16日(日)  
午後1時30分～4時  
参加料:無料  
場 所:交流棟大ホール  
出 演:「だるだる」、読書グループ「かしやんぼ」

会 期:7月18日(土)～9月6日(日)  
午前9時～午後5時  
入場料:無料  
場 所:企画展示室

付属事業 3 妖し巡り「さみしがりの妖怪たちを訪ねる」

日 時:8月29日(土)  
午前10時～午後3時  
参加料:500円  
定員:15名程(要申込・先着順)  
場 所:紀北町紀伊長島区  
講 師:小倉肇氏  
(三重県紀北町文化財調査委員長)  
雨天の場合は8/30(日)に延期

その他  
Guide&Tips

～梶賀のあぶり～

尾鷲市最南端、梶賀町では春先から7月初旬まで、家の軒先などから桜の木を焼いた煙がたつのが見られます。「あぶり」は、尾鷲市梶賀町だけに伝わる伝統の郷土食で、100年以上も前から親から子へと伝えられ、冷蔵がない時代に保存食とされてきました。市場であがったばかりの小さな魚に塩を塗り、串刺しに刺し、桜や樫の木でじっくりと燻製にします。その味は絶品、独特の香ばしい風味とともにギュッと凝縮された旨みが広がり、ごはんでもお酒にも合います。魚種は、小サバ、イサキ、小カツオなどで、それぞれ独自の味わいが魅力となっています。



東紀州のうまいもの

くまの・みち叢書8  
「熊野古道の獣」 発売中!



紀伊山地には三重県の在来哺乳類の全種である50種の哺乳動物が生息しています。これらを一冊にまとめたガイドブックが完成しました！  
私たちが夜行性である哺乳類に出会うことはめったにありませんが、古道歩きや登山の際に彼らのフィールドサイン(足跡や糞など)を見つけることがあります。そんな時、こちらの図鑑を開いてみてください。どんな動物が山の中でどのような生活をしているかわかります。ポケットに入れて山へ出かけたい一冊です！

お買い求めは当センターカウンターまで。 500円

和歌山県  
世界遺産センター  
からのお知らせ

今年例年より、熊野参詣道を歩かれる海外からの旅行者をよく見かけ、和歌山県世界遺産センターに来館される外国人の方も倍増しています。特に、少人数で歩かれる欧米からお越しの方が多く、なかには参詣道を歩き、「日本の原風景がみられて大変良かった」との感想を持たれる方もいます。  
世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」といわれます。世界遺産を通して人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう当センターでは、世界遺産セミナーを開催しています。今回の世界遺産セミナーでは、高野山の中門の再建に直接関わった尾上氏を迎え、講演と現地説明を行う予定になっています。



道普請の事前世界遺産講座 道普請作業の様子

平成27年度 第2回 世界遺産セミナー(予定)

第2回 平成27年 7/26(日) 13:00～15:00  
内容 「高野山開創1200年と中門再建」について  
講師 尾上恵治氏 (株式会社尾上組代表取締役 和歌山県世界遺産マスター)  
場所 【櫻池別館会慶院】 (伊都郡高野町高野山293)

※諸般の事情により、日程・内容・場所等が変更になる場合がありますので、和歌山県世界遺産センターへご確認下さい。  
平成27年4月の道普請参加団体(仮称) バンドー化学株式会社 南海電気鉄道株式会社(南海電鉄グループ新入研修) 株式会社ケネスト  
文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。  
参加費 無料

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関する お問い合わせは 和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

特別展

「絵本の原画がやってくる!」

紀宝町出身の絵本作家、山本真嗣さんがこれまで出版した「さがしもの絵本」全4冊の原画を一堂に展示します。原画ならではの魅力をお楽しみください。

会 期:7月4日(土)～8月23日(日)  
午前10時～午後3時  
入場料:無料 \*期間中無休  
場 所:特別展示室



たべもの王国のさがしもの(原画)

付属イベント ワークショップ「にがおいピザをつくろう!」

絵さがし絵本「たべもの王国のさがしもの」に登場しそうなキャラクターやお友だちの顔などオリジナルの似顔絵ピザを作ります。

日 時:8月1日(土) ①午前10時～正午 ②午後1時～3時  
入場料:200円  
定員:各30名(要申込・先着順)

対 象:小学生  
場 所:体験学習室  
講 師:山本真嗣氏(絵本作家)  
受 付:7月1日(水)～



にがおいピザ

講座・講演

8/8(土) 熊野古道センター映画祭 第1回「TOMORROW/明日」

1945年8月9日に原爆が投下される前日の長崎で暮らす人々の日常生活を描いた黒木和雄監督作品「TOMORROW/明日」(105分)を上映します。(解説・座談会もあります。)  
時 間:午後1時30分～4時  
参加料:無料  
定員:80名(要申込・先着順)  
場 所:映像ホール  
解 説:田中忍氏(三重映画フェスティバル実行委員会)



新しい古道の歩き方

7/4(土) 「須野から梶賀への道」

かつて地域の生活道として使われた曾根町～浦母町間、須野町～梶賀間の2つの峠道を歩き、古道周辺の漁村を周回探訪するツアーを開催します。熊野古道語り部友会の会員の太田善士氏の案内のもと、苔むした石段や九十九折れの道が美しい2つの峠道と風情漂う漁村、浦母町・須野町を巡ります。  
時 間:午前8時30分～午後3時  
参加料:500円(保険料含む) 雨天の場合は7月5日(日)に延期  
定員:20名(要申込・先着順)  
場 所:尾鷲市曾根町・熊野市浦母町・須野町  
案内人:太田善士氏(熊野古道語り部友会の会員)  
対 象:一般 ※健康志向(山歩き6km車道歩き8km 計14km/歩行時間約5時間半)  
受 付:～6月25日(木)

毎週日曜日

あなたも工芸作家! その場でできる体験教室

事前申込不要!ご来館してすぐに参加いただける工芸教室です。メニューは、箸づくりやバターナイフづくり、鍋敷づくり、貝細工、木のおもちゃづくりなど盛り沢山で、週替わりで開催します。  
時 間:午後1時～3時受付  
参加料:100円～1000円 (事前申込不要)  
場 所:交流棟ロビーまたは、展示棟ロビー  
講 師:下地 幸氏、大形 弥生氏、中井 智章氏、山口 博氏



体験学習

8/2(日) 東紀州の四季を味わう料理教室 ～山里のごちそう あまご料理～

熊野市育生町の秘境とも言える山里・赤倉地区の養殖アマゴをおいしくいただくレシピをご紹介します。  
時 間:午前10時～午後1時 講 師:村林新吾氏(三重県立相可高校食物調理科教諭、相可高校調理クラブ)  
参加料:2,000円  
定員:24名(要申込・応募多数抽選) 受 付:7/2(木)～7/19(日)午後5時  
場 所:体験学習室

8/14(金)～16(日) 「夏休みスペシャル体験教室」

3日間限定の日替わり体験教室です。夏の思い出にご家族で楽しいものづくりに参加してみませんか。

- 日程 8月14日(金) ヒノキの木琴作り(参加料:500円)
- 8月15日(土) 迷宮の箱作り(参加料:500円)
- 8月16日(日) 尾鷲ヒノキの木工教室(参加料:100円～)
- 場 所 体験学習室
- 講 師 熊野古道センター職員、大形弥生氏
- ※材料がなくなり次第終了となります。
- ※すべて事前申込み不要で午後1時からの開催です。

8/22(土) 熊野古道自然学校 「熊野古道の植物を学ぶ～第2回コケ植物編～」

熊野古道に自生する植物について総合的に学ぶ講座です。第2回目は、東紀州地域に約400種確認されているコケ植物について、熊野古道大吹峠を歩きながら、その分類や生態を学びます。  
時 間:午前10時～12時  
参加料:300円(保険料、資料代含む)  
定員:20名(要申込・先着順)  
場 所:熊野古道大吹峠波田須町側  
講 師:山田耕作氏 (公益財団法人 服部植物研究所非常勤研究員)  
受 付:7月22日(水)～8月16日(日) 雨天の場合は8/23(日)に延期



昨年度開催の様子